

学力向上に効果のある取組事例

由布市立 塚原小学校

④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組①「ふりかえり」に着目した授業展開

○学習の見通しをもたせ、意欲を高めさせる「めあて」や追究すべき事柄を明確にした「課題」を児童と共に共通理解して設定している。

○ねらいに沿った「めあて」、児童と評価規準を共有できる「めあて」を設定している。

○「めあて」を踏まえて「振り返り」を設定。下記の視点を提示し、毎時間、本時の学びを振り返らせている。

児童に説明し、意識づけさせている。

(例)5年生算数の振り返りの視点から

- ①できるようになったこと ②わかったこと ①②…【知識・技能】
- ③自分や他の人の考えのよかったところ
- ④学んで自分の考えが変わったこと ③④…【思考・判断・表現】
- ⑤もっと学習したいこと
- ⑥生活や学習で役立てたいこと ⑤⑥…【主学態】

【大切にしていること】

- ・3つの観点で振り返りをさせる。
- ・児童が1時間の授業の中で「何を学習したか」を【知識・技能】【思考・判断・表現】【主学態】の視点で具体的に振り返りを書かせ、「知識の概念化」につながるように取り組む。
- ・子どもが主体性を持てる「めあて」、成果を実感でき、次につながる「ふりかえり」を設定をした授業実践に取り組む。

取組②習熟の程度に応じた指導の充実

○毎朝のスキルタイムで、算数の基礎基本の定着や活用力を高めさせるための補充学習に取り組んでいる。

(プリント・AIドリルを使用)

※スキルタイム…月・火・木の朝8:30~8:40

○毎日、国語・算数を中心とした家庭学習の実施。保護者に宿題の見取りをお願いし、学校と家庭で協働して取り組んでいる。

(音読・家庭学習の確認…教員による個別指導)

○AIドリルを授業の終末や家庭に持ち帰って活用し、個別最適な学びの実現も目指して取り組んでいる。

○自分の考えを形成するために思考ツールを効果的に取り入れている。思考ツールを用いて、自分の考えと友だちの考えを比較検討したり、考えさせたりしている。その積み重ねにより、子どもたちは考えを整理したり、自分の考えを伝え合うことができるようになってきた。

(学年の発達段階に合わせた思考ツールを使用)

5年算数 ふりかえり

- 1 できるようになったこと
- 2 わかったこと
- 3 自分や他の考えのよかったところ
- 4 学んで自分の考えが変わったこと
- 5 もっと学習したいこと
- 6 生活や学習で役立てたいこと

